資料３

数値目標の設定について

１．文化審議会における議論

時　　期	議　　事　　等	主な意見等
令和元年度第３回 （令和２年１月）	**〇他県等の指標** （群馬県、鳥取県、札幌市）	・数値化は説明責任であり必要。 ・北海道ならではの数値目標を考えなければならない。 ・アウトプットのほかにアウトカムを示すものもあるが、安易に作られた数値は目的を阻害する場合もある。何をやるのかしっかり議論した方が良い。 ・指標は作らざるを得ないが、数字ありきになると、数値の良くない分野に予算が使われ、やるべき施策ができないなど本末転倒になる恐れがある。 ・数値の目標は定量的、人間の思いは定性的なので、どう折り合いをつけるか。 ・「ぐんま絹遺産の認知度」など具体的な内容の目標がある一方、芸術環境に対する満足度など対象がはっきりしない目標もある。 ・施設の利用者数であれば、利用内訳などを見せてもらったほうが具体的な設定ができる。 ・博物館の多言語表記等を目標にして、できるだけ100%に近づけるのも数値目標として考えられる。
令和元年度第４回 （令和２年３月）	**〇令和元年度 道の文化関係政策**	・指針にＳＤＧｓを位置付けるのであれば、数値目標にも反映させるべき。 ・ＳＤＧｓ自体が、実は文化であり、数値目標に入れ込む切り口が色々あるので是非入れるべき。 ・企画数とか入場者数は数値化しやすい。一方で若手就業人口や出生数まで設定すると果たして文化が寄与しているのかどうか判然としない。 ・鑑賞者だけでなく出演者数も重要。次代を担う子ども達がイベントに参加する機会も一つの指標。 ・数値目標は、事業ごと、項目ごとに設定するのか議論が必要。

２．数値目標の設定について

［現　　状］

道の既存の計画等において、指標を設定している文化関係の項目は、次のとおり。

①北海道総合計画（平成28年(2016年)～令和７年(2025年)）

ふるさとの歴史・文化の発信と継承

区　　分	指標項目		現状値		目標値		指標の説明
			数値など	年	数値など	年	
■北海道独自の歴史・文化の発信と次代への継承	北海道博物館の利用者満足度	単年	65.8%	H25	80%以上を維持	R７	北海度博物館の利用者調査で「満足」と回答した人の割合
■先人から受け継いだ財産を活かした新たな展開	赤れんが庁舎入館者数	単年	51万人	H26	81万人	R７	年間入館者数
■生活に潤いと豊かさをもたらす芸術文化の振興	文化会館入場者数	単年	46万人	H22	50万人	R７	公立文化会館が主催・共催する事業の入館者数または参加者数

②北海道創生総合戦略（令和２年(2020年)～令和６年(2024年)）

北海道独自の歴史や文化の発信

区　　分	指標項目		現状値		目標値		指標の説明
			数値など	年	数値など	年	
■歴史や文化の発信による地域の魅力向上	「アイヌ民族が先住民であること」の認知度	単年	84.7%	Ｒ２	98.0%	Ｒ６	道内で知っている人の割合
	世界遺産所在市町の観光入込数	単年	14,557千人	Ｈ30	16,011千人	Ｒ６	
	北海道開拓の村入村者数	単年	130,913人	Ｈ29	152,945人	Ｒ６	
	赤れんが庁舎入館者数	単年	510,378人	Ｈ26	810,000人	Ｒ７	
■地域文化の振興や魅力発信	「北海道恐竜・化石ネットワーク研究会」構成自治体の関係施設への入込客数	累計	159千人	Ｈ30	183千人	Ｒ６	関係施設への来館者数
	ジオパーク構成市町村への観光入込客数	単年	21,051千人	Ｈ30	24,792千人	Ｒ６	
	日本遺産構成市町村への観光入込客数	単年	54,032千人	Ｈ30	62,723千人	Ｒ６	候補地を含む
	道立美術館等の展覧会や教育普及事業などの利用者数	単年	710千人	Ｈ28	800千人	Ｒ４	道立美術館・博物館の利用者数
	北のまんが大賞応募作品数	単年	55作品	Ｈ28	100作品	Ｒ６	

［設定にあたっての考え方など］

区　　分	考え方など
目　　的	道の文化振興に関し、**将来の「めざす姿」と「目標」を道民の方々をはじめ関係団体等と共有する**とともに、指針に基づく**各種施策の進捗・達成度合いの検証・評価を可能とする**ため、数値目標を設定する。
項目の選定基準	**できる限り分かりやすく、かつ具体化した指標を設定する。** ・原則、毎年又は隔年で数値が把握できるもの ・都道府県単位での把握や全国平均値との比較ができるもの
目標数値の設定	**原則、目標数値と目標年次を設定することとし、設定の考え方について明らかにする。** **指標の性格などから目標数値の設定が困難なものは、他の地域との比較の観点から目標を設定する。** ・あるべき姿として設定 ・目標数値の設定が困難なものは、全国平均や順位を設定（全国平均、全国１位を目指すなど） ・国の計画等の目標値にあわせて設定
目標年次の設定	・国の次期文化芸術推進基本計画期間（令和９年度）を基本に、道の総合計画期間（令和７年度）を勘案して設定する。
施策との対応	・施策の区分毎に数値目標を位置付ける。（重複も可）
推進管理	・毎年、文化審議会において報告
そ　の　他	・施設・イベントの入場者数などを数値目標として設定する場合は、近年の新型コロナウイルス感染症の影響を勘案する必要がある。